

研究への参加に関するお知らせ（オプトアウト） — 傷病者の方へ —

横手市消防本部では、秋田県MC協議会研究倫理審査委員会の承認を受けて、以下の研究を実施しています。

この研究は、救急車が出動した際に救急隊員が作成した記録を使って行うものです。研究のために、対象となる方に新たに何かをお願いすることや、診察・処置を行うことは一切ありません。すでにある記録を振り返って分析するだけです。皆さまの日常生活や救急対応に影響が生じることはありません。

この研究の対象となる方は、ご自身の情報が研究に使われることを断ることができます。断った場合でも、その後の救急対応などで不利益を受けることは一切ありません。お申し出の方法は「10 本研究への参加を希望されない場合」をご覧ください。

1 研究課題名

救急救命士の実習経験が静脈路確保の成否に与える影響：横手市消防本部における後ろ向き観察研究

2 研究の目的

本研究は以下の 2 点を目的とします。

- （1）静脈路確保の成否に関連する傷病者の状態および救急救命士の経験に関する因子を明らかにする。
- （2）救急救命士が病院実習で経験を積むことが、現場での静脈路確保の成功率に関連しているかを明らかにする。

これらの結果は、本消防本部の訓練・教育計画の改善および救急活動の質の向上に役立てます。

3 研究の方法

この研究では、救急車が出動した際に救急隊員が作成する記録（救急活動記録票）を使用します。これはすでに作成されている記録であり、研究のために新たに何かをお願いすることは一切ありません。集めた情報は、数字や統計としてまとめて分析します。

4 研究対象となる方

令和6年1月1日から12月31日、令和7年3月1日から8月31日、令和8年1月1日から6月30日の間に、横手市消防本部管内において救急救命士による静脈路確保が行われた方。

5 使用する情報

救急活動記録票に記載された以下の情報を使用します。

年齢・性別・対象プロトコル（心停止、ショック、低血糖）・静脈路確保の成否

6 個人情報の取扱い

お名前や住所など、個人が特定できる情報は研究データから取り除き、代わりに番号を付けて管理します。番号とお名前などを結びつける対応表は、研究責任者が鍵のかかる場所に研究データとは別に厳重に保管し、解析を担当する者は見ることはできません。研究が終わった後は、この対応表を適切な時期に廃棄します。取得した情報はこの研究以外の目的には使用しません。

7 研究期間

倫理審査承認日 ～ 2028年12月31日

8 研究成果の公表

研究成果は、学会発表として公表しますが、個人が特定されることはありません。

9 研究責任者

氏名：鈴木 善也

所属：横手市消防本部 横手市消防署 平鹿分署

10 本研究への参加を希望されない場合（情報の使用を拒否する方法）

本研究にご自身の情報が使用されることを望まれない場合は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。お申し出をいただいた場合は、当該研究対象者の情報を研究データから除外します。

11 お問い合わせ先

所属：横手市消防本部 横手市消防署 平鹿分署

担当者名：鈴木 善也

電話番号：0182-24-1119

E-mail：shoubou-hiraka@city.yokote.lg.jp